

第1回 公開シンポジウム

非平衡物理学の挑戦

物理から生命への架け橋

非平衡系を支配する法則を解明することは現代科学の大きな未解決課題です。第1回公開シンポジウムでは、非平衡ゆらぎ現象における普遍性、人工細胞の創成、細胞の賢さと知性の起源、それらを踏まえ、非平衡ダイナミクスから生命機能を捉える新しい試みについて、わかりやすく紹介します。物理学科の学生は勿論、他分野の方にも新しい視点が得られるでしょう。

2014年2月15日[土] 13:00-16:30

会場

東京大学 本郷キャンパス
小柴ホール

対象

本シンポジウムでは大学学部生レベルの講演を予定していますが、高校生、一般の方にも十分刺激的な内容となっています。高校生、一般の方も大歓迎です。

入場無料 定員 160名

応募方法

<http://sfs-dynamics.jp/sympo1/>
もしくは
電子メール:sfs@issp.u-tokyo.ac.jp

【主催】
新学術領域研究
ゆらぎと構造の協奏：非平衡系における
普遍法則の確立 (略称「ゆらぎと構造」)事務局
Tel:04-7136-5338
e-mail:sfs@issp.u-tokyo.ac.jp

プログラム

13:00-13:10 挨拶

13:10-13:55 **ゆらぎ** ~ミクロとマクロの架け橋~

佐々真一 (京都大学 大学院理学研究科)

13:55-14:40 **物質から生命へ** ~最も単純な細胞をつくる~

今井正幸 (東北大学 大学院理学研究科)

15:00-15:45 **粘菌の知性** ~細胞の賢さを探る~

中垣俊之 (北海道大学 電子科学研究所)

15:45-16:30 **動的で非平衡な世界**

佐野雅己 (東京大学 大学院理学系研究科)

【お問い合わせ先】
千葉大学大学院理学研究科 櫻井建成
Tel:043-290-2765 e-mail:tatsunari@chiba-u.jp

